

- 1・日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
 【三つの共同目標】2・日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
 3・日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

TPP問題・連続学習会の第1回を開催

コープあいち・牛田氏が連帯のあいさつ

緑区平民懇主催で、9月29日(日)午前10時、緑区有松コミュニティセンターで、日本を壊すといわれているTPP問題の学習会を行い20人が参加しました。

この学習会の冒頭、コープあいちから牛田清博氏が連帯のあいさつをされ、食の安全や地域経済などくらしに丸ごと



マイナスの影響のあるTPPや消費税増税問題の、出張学習会に講師を無料で派遣します。気楽に勉強会をやりましょうと呼びかけられました。

今回は連続学習会の第1回ということで、講師に農農連の事務局長・本多正一氏を迎えて「TPPで食の安全は？どうなる私たちの暮らし」と題した講演を中心に質疑と討論を行いました。

講演では、TPP協議のそもそもの発端が、例外なしの関税撤廃、非関税障壁も21分野もあり、しかも無条件秘密条約、協定発行後4年間は秘匿義務を持たされ、現に、国会にも国民にも交渉内容を秘密にしたまま交渉参加の協議に。アメリカから年内妥結への異常な攻勢があり、そして、



食の問題では、添加物も今の800種から3000種へ、遺伝子組み換え食品の表示の撤廃も。認めれば、輸入食品が多くなり空素過多に。また、国内法によって外国企業が損失を被ったときは、ISD条項によって損害賠償を要求されることも・・・農業も食の安全も医療も雇用も保健もアメリカの大企業の言いなりになり国民のくらしが守れなく

なることが強調されました。

参加者から「秘密ですすめる交渉は国民にとっていいことは何一つないことがよくわかった。TPPは阻止しなければ！」の感想が寄せられました。

第2回の学習会は、岩月浩二弁護士を講師に、11月23日(土)午後1時30分、有松コミュニティセンターで行います。ぜひ、お越しください。
 【事務室長・中島信行】

ノーモア被爆者訴訟

第10回公判が左記のとおり開かれます。当会会員の高井つたえさんが被爆者としての認定を求めて原告としてこの裁判をたたかっています。ぜひ裁判を傍聴しご支援をお願いします。

11月25日(月)

とき 午後1時

集合 名古屋地裁前

公判終了後報告集会を開催します。

第27回日本高齢者大会に参加して

9月12～13日、三重県で第27回日本高齢者大会が開かれた。12日には三重大学で学習講座、13日は総合文化センターで全体会がもたれた。

学習講座「東日本大震災復興・復興3年目の現実と課題」に参加した。行方不明者はいまだ2660人（岩手1145人、宮城1299人）である。避難者は29万4千人におよぶ。瓦礫の処理は、岩手63%、宮城82%と、これは復興ではなく復旧にとどまっている。

福島では、除染が進まず避難生活が長期化し、肉体的精神的疲労が蓄積している。原子炉冷却に使った汚染水を貯蔵する地上タンクの汚染水漏れなどが相次いで起きる等原発事故は収束していないばかりか危機的状況にあるという。沿岸では、2年6ヶ月も漁業ができない。子どもは学



校を奪われ、先生から切り離され、家族・友人からも引き離された。双葉郡内5つの高校はすべて避難し、内4校は生徒数100人未満で存続が危ぶまれ、さらに、生徒の学習の遅れ、ストレス、児童虐待も懸念されているという。

被災地のこのような状況を放置して再稼働などあり得ない。ましてや原発輸出など断じて許されない。

基調報告では前述の他に、消費税の8%への増税、生活保護法の改悪、年金の引き下げ、不安定雇用、TPPによる農業破壊、憲法改悪への策動など平和、安全、いのちを

守る運動をいつそう進めなければならぬ課題が山積していることやひとりぼっちをつくらぬいまちづくり、地域づくりの課題等があることが報告された。

学習講座に参加して思ったことは「黙っていればいいようにされてしまう」。だから、たちあがらなければならぬと精一杯勉強した2日間でした。

【西村撤男】

緑区原水協総会開く

緑区原水協総会が10月14日、徳重コミセンで開催され、30名を超える会員が参加しました。沢田啓子理事長が、原水爆禁止をめぐる動きや活動のまとめを報告し、次期方針を提案。古川会計が決算報告と予算案の提案を行い、すべての議案が採択されたのち、事務局の新設を含む次期役員案が提案・承認されました。事務局には、古川誠さんの就

任が決まりました。総会后、合唱団みどりによる「折り鶴」などの合唱があった後、沢田昭二さんによる「核兵器も原発も無い世界への展望・2015年NTP再検討会議に向けて」と題して原爆投下後の世界の情勢と抑止力を固執する勢力と核兵器廃絶を願う国民の運動がせめぎあってきた今日までの情勢について講演がありました。

「特定秘密保護法」

10月14日、大高・緑9条の会で今国会に提出されようとしている「特定秘密保護法」の学習会を行いました。

若いお母さんたちにとつて例えば、「子どもたちを守るために」原発等の政府が秘密と特定した情報を知ろうとすると、「自分の守るべき家族にまで、国家が監視する」という可能性はかなり衝撃だつた。たようです。弁護士会では法案の自身（国会議員の調査活動の侵害、うっかりしゃべったことまで処罰の対象）を知らずに賛成してしまう国会議員にこれから働きかけていくとのことでしたが、私たちも多くの人に知らせていく活動、地元選出議員への働きかけなど工夫が求められています。

【溝口江里子】



原発なくそう緑区集会開く!

秋晴れの10月13日(日)緑区での原発ゼロをめざす「青



い空、海、子どもたちが走りまわれる大地を残す緑区集会」が徳重交差点近くの要池公園で開催され、50名を超える区民が、旗、鳴り物、プラカードなどを持って参加し、原発ゼロを訴えました。

集会は、10時30分から原発ゼロトーク集会を開催したのち、宣伝カーを先頭に、沿道の人たちに「原発なくそう」「再稼働反対」「子どもを守れ」などと鳴り物をならしながら訴え、黒沢台の西友ストア前までアピールウォークを行いました。

粘り強く取り組むことが必要」「安倍首相の汚染水はブロックされているという発言には頭に来た」などと感想を語っていました。

この集会は3月10日の第3回集会以降7ヶ月ぶりに原発なくそう緑区実行委員会が主催したものです。

実行委員会では、粘り強く運動をすすめようと12月1日(日)に第5回の原発なくそう緑区集会を開催することにしています。

歌って笑って

原発なくそう緑区集会

日時 12月1日(日)

午前10時30分

会場 要池公園

歌、踊り、落語、手品など演芸の出演者を募集中です。

kannatsuki18@gmail.com

緑区平和美術展

核兵器のない平和な世界を願うみどり区文化のついで第19回平和美術展が9月21日、22日の両日緑農協本店3階で開催されました。出展者221人、(300点以上)

来場者は514人と過去最高。たいへん好評で平和の輪が広がっていることを感じました。有松絞りの実演をしてくださった中島鈴枝さん(93歳)今年も元気で会場を盛り上げて下さいました。長崎で被爆され、裁判をたたかっている高井ツタエさんの被爆体験のお話には小学生から高齢者まで世代を超えて深い感銘を与えました。飯館村の写真展、原爆と人間の写真展はどちらも核兵器廃絶の思いをより強くするものになり、平和への草の根での取り組みの広がり役に立ちました。来年は、20回という区切りの平和美術展となります。【佐藤五子】

TPP とは何か

好評だった9月の「TPPで食と暮らしはどうなる」に続く第二弾「TPPとは何か」は、TPPが及ぼす国家主権や国民主権、基本的人権との関わりを語り合い、意見交換を目的に開催します。講師にTPPに反対する弁護士ネットワークの座長である岩月浩二弁護士をお招きして縦横に語っていただきます。ぜひお気軽にご参加下さい

緑区民懇主催

TPP問題シリーズ第2弾

日時 11月23日(土) 午後1時30分～

会場 有松コミュニティセンター

講師 TPPに反対する弁護士ネットワーク
岩月浩二弁護士

お問合せ先 中島信行 052-621-2195

E-mail: heiminkon@gmail.com



愛知トリエンナーレに思う

服部証次



いま愛知トリエンナーレが開かれているのをご存知でしょうか。8月10日から10月27日までの長丁場。県芸術文化センターや名古屋市美術館、長者町や納屋橋、岡崎駅前や康生町、松本町など町の界隈を利用して開かれています。前宣伝とは裏腹にどこか埋没しているようにも見えます。

リレートーク

国際芸術祭です。現代美術に限らず演劇や舞踏、音楽など多岐に渡っています。今年の芸術監督は東北で震災に遭われた建築家の五十嵐さん。「揺れる大地」ということで震災そのものを見ずえた作品だけでなく、原発や貧困や戦争の問題等現代社会は不安定で先行きが見えない、そうした時代状況を「揺れる大地」として企画の中身や招待作家の選択をしたと聞きます。状況はとても深刻なものを抱えています。作品の方はどうでしょうか。見ていて脳天気さや腹が立つこともありま



す。監督が建築家ということもあって建築的な空間づくりが前回にはない特徴かもしれません。果たして誠実に時代を憂い、未来を見ずえて作品づくりをしているのか、芸術祭全体がそういうものになっているのか、大変な額の私たちの税金が使われていますの

でぜひ自分の眼で確かめたらどうかと思います。企画に行政側が金も口もだしていて芸術家にとつてさぞやりにくいことだったろうと思います。そもそもこのトリエンナーレは愛知万博に味をしめた行政が他の都市に習って花火のようなイベントとして始まったものです。本当の意味で芸術が庶民の身近なものになるのかどうか疑問です。地元の作家も活躍の場があるわけでもなく、いつもの会場から閉め出されてさいます。

と身近で芸術も心も育つのではないかと思えます。草の根の文化の意味を考えさせられます。■基軸通貨国発債務不履行が当面回避された。米議会内の対立が背景にあるようだが、世界に君臨したアメリカの凋落を見る思いがする。いまや世界でアメリカのいうことを聞くのは、日本と韓国だけになったとある経済学者。沈み行くアメリカ丸と運命をともしようというのがTTPへの参加である。世界はもうアメリカ一辺倒ではない、アジアでの役割発揮こそ日本の進むべき道では？ 【下山】

年金引下げにノー
不服審査請求に参加を！

年金引下げを食い止めようと年金者組合を中心に行政不服審査請求運動が準備されています。年金で生活をしている高齢者にとって引下げは切実な問題です。不服審査請求運動のことは、年金者組合にご相談下さい。

発行
平和・民主主義・暮らしを守る緑区懇談会
所在地 458-0801 名古屋市長緑区鳴海町花井9-3
ラ・フォーレ1F
☎ 052-625-0950 FAX 052-625-0904
e-mail : heiminkon@yahoo.co.jp
編集責任者 緒川文字